

26.11.3  
2日

# アユやな お目見え

延岡市内  
2カ所

延岡市で300年以上の歴史を誇る秋の風物詩「アユやな」が、市内2カ所に完成した。アユやな漁は10月1日に解禁されたが、相次いだ台風の影響で設置が遅れていた。水郷を象徴する伝統漁具がようや

く登場し、訪れる食事客からは風情ある光景を楽しんでいる。アユやな漁は、産卵のために川を下るアユの習性を利用する漁法。竹で編んだすのこで川をせき止め、中央付近の「落テ簾（おてす）」へと誘

い込む。同市大貫町の大瀬川には、アーチ状の「延岡水郷やな」が架かった。長さは約130m、一級河川に架かるやなでは日本一と呼ばれる規模だ。同市北方町川水流の五ヶ瀬川



大瀬川に美しいアーチを描く「延岡水郷やな」。棧橋を歩いて、中央部の「落テ簾」まで行くことができる



延岡市北方町の「川水流やな」の「落テ簾」。5年ぶりの復活となった

の「川水流やな」は約60年で、5年ぶりのお目見え。漁獲量の減少で2010年から架設を休止しており、復活を目指した昨年も架設途中に大水で流出していた。

同やなを経営する柳生信介さん(54)は「増水で遅れを余儀なくされたが、ようやく出来上がった。伝統あるやなを多くのお客さまに見ていただきたい」と話した。

(延岡支社・佐藤友彦)